

## 見学の感想文（楊千慧）

### スケジュール

期日	活動
2018/5/28(月)	外来（うりずんの新利用者の診察） 病児保育紹介 宇都宮市の医療的ケア児についてのコンファ
2018/5/29(火)	外来 うりずん（放課後デイ）
2018/5/30(水)	うりずん（児童発達支援、放課後デイ＋送迎）
2018/5/31(木)	うりずん（日中一時） 高橋先生の講演 プライマリーケア研究会
2018/6/01(金)	うりずん 病児保育 訪問診療
2018/6/02(土)	外来 訪問診療 Dream Night at The Zoo

### 外来

患者さんが診療室に入る際に、医療者が立ち上がって挨拶をして、診療が終わる際に、また立ち上がって「お大事になさってください」を目送ってのは一番印象を残ることで、感染症をひいた可能性がある患者さんは独立な診察室で待ってたのも印象に残っていることです。

特に、家族と一緒に受診しにきたのは多かったです。家族との信頼関係があって、感動しています。本当な「primary care clinic」だと思います。

### 病児保育

私は「もし子どもが病気になって学校にいけなくなって、預ける場所があったらいいな」を考えたことがあるけど、感染予防や急変時の対応については色々な大変さがありそうと思います。家族が理解して、納得できる上に病児を受けらないと誤解が起こりやす

い。環境の整備も大事です。実際にいろいろな難しさがあると思います。

台湾では病児保育という政策がまた聞いたことがないです。この度、病児保育はどんな形で実現できるのを勉強になりました。

## うりずん

うりずんでのケアの質をみたら、それを目標として頑張らなければと思う方が多いだろうと思います。寝たきりの医療的ケア子が普通の保育園と同じ授業と遊びを受けられるのを思わなかったです。

児童発達支援で、朝の歌から、違う重度さを持つ子どもたちが一緒に活動をできるのを感動していました。隣の日中一時でも歌って声を聞こえます。いちごの味を体験した日中一時の利用者さんたちは色々な表情を出てきました。放課後デイは時間がギリギリですが、家族にとっては大事なサポートだろうと思います。

## 訪問診療

患者さんの年齢が関わらずに訪問している高橋先生はほとんど自分で訪問しています。自分ひとりだけで on call しているので、first call は訪問看護師です。往診箱もほとんど自分の車の中で用意しています。

高橋先生が自分のお父さんを訪問していたのが一番印象が残ってます。私の両親は 70 代になったところです。最近ある後輩のお母さん（心臓梗塞後）が認知症のおばあさんを介護しています。後輩自分は医師だけど、どうすればいいかよく分からなくて、私に相談をしました。介護に関するテーマは社会的に全員に関わることだと考えています。

## Dream Night at The Zoo

この度、見学時間が短くて残念でしたが、「Dream Night at The Zoo」に参加させてくれて、ひばりクリニックとうりずんに関わってる利用者さんを会えて嬉しかったです。

## 会議、講演について

この一週間、高橋先生と一緒に色々なイベントを同行させてくれてありがとうございます。宇都宮市で医療的ケア児に関する初めての会議、日本栄養給食協会での講演、プライマリーケア研究会で、高橋先生の「reach out」とその重要性を見ました。

外来で、高橋先生にそういう質問を聞いてみました。「楊呼吸療法士はずっと在宅で子どもをみてますので、両親の大変さをよく知っています。その大変さを他人にも知ってほし

いですので、ずっと言っていますが、疲れてるそうです。先生は疲れっていないですか？」先生は「続けて言うしかないですね」と言いました。そうですね。先生がその通りにしていますね。

## 他の思い

私はもともとあまり障害児に関わらなかったです。研修医時ときとき肺炎で入院した脳性麻痺を持ってる患者さん、急性期脳炎を診断された患者さんと会ったことがあるぐらいです。障害児が感情を持ってることを実際に体験した機会がほとんどないです。

今まで台湾の障害児より、日本の障害児と過ごした時間が多いかもしれません。台湾に戻ったから、前働いた病院の小児神経科の training をうけながら、在宅患者さんを見てます。一人患者さんはワクチンが必要ですが、在宅ワクチンの流れはまだ立ち上がってないです。今月の目標は在宅ワクチンをするように頑張ります。そして、台湾での制度、障害児と医療的ケア児の実態について、今からも勉強したいと思います。

その前、「人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスの構築」の報告書を読んだ時に、すごく勉強になりました。報告書でうりずんが始まった時の経過を詳しく述べました。大変ありがたいです。

台湾で、呼吸器をつける子どもの預かりサービスについて、呼吸療法士の楊さんは経験がいっぱい持っていますが、サポートをくれるチームはまだありません。私はまた経験が足り得ないので、サポートできる能力と勇気がまだないです。しかし、その思いを心の中で置いて、研究会、講演会でうりずんでの体験をシェアしながら、自分の能力をアップして、「天の時、地の利、人の和」がくる時を待っております。

## 感謝

この度の見学について、急に申請を出して大変申し訳ございませんでした。大変お世話になりました。丁寧にスケジュールをアレンジしていただいて、短い時間で色々を体験させてくれました。ありがとうございました。またよろしく御願いたします。